



くまさん倶楽部

〈編集発行〉熊本日日新聞西部販売(株)
八代市田中西町19-2
TEL0965-34-5151
<http://www.kumasanclub.com>
E-mail:kumasan@kumasanclub.com

522号
2024.3.1



〈絵〉杉 孝子

とんとん

お客さま第一主義

2. 八代市立博物館未来の森ミュージアム
令和5年度冬季特別展覧会「武将の備え」
3. がまだせやっちろっ子
4. 私の食・フォトピック

新中学生の保護者の皆様へ

〈中3クラブ、中1・2クラブのご案内〉

高校進学を目指す中学生のための入試予想問題集「中3クラブ」（年10回発行予定）を希望者に配布しています。また、1・2年生向けの問題集「中1・2クラブ」（年1回発行予定）もごさいます。どちらも無料の問題集です。ご希望の方はぜひお申し込み下さい。

※中3クラブは熊日購読者のみとなっております。

熊日新聞西部販売
0120-249021



熊日新聞朝刊と一緒にお届けします！
配布エリア
代陽・八代・松高・八千把・郡築の5校区

切り取ってお持ちください
技術料10%offいたします
有効期限：2024/3/31まで
他の割引券との併用は出来ません

髪もココロもよろこぶ

プラスワン美容室
PLUSONE

八代市出町8-17 プラスワンビル2F
TEL0965-33-0190
<http://www.plusone-group.com>
定休日：第一日曜・月曜 毎週月曜

★熊日新聞ご購入のお申し込みは… 0120-249021



武将の備え

八代城主松井家の

武器と武具

八代市立博物館未来の森ミュージアムでは、3月24日(日)まで、令和5年度冬季特別展覧会『武将の備え〜八代城主松井家の武器と武具〜』が開催されています。

江戸時代に八代城主をつとめた松井家には、五百点を超える武器・武具が伝来しています。これらの中には、平安時代末期から室町時代にかけて制作された刀文の美しい刀剣、種々の材料や技法を駆使した肥後拵、兎の耳を模したユニークな形の兜、細川三斎流として名高い洗練されたデザインのアゴ、高級な羅紗を用いた派手な色合いの陣羽織などが含まれており、当代武将たちの美意識の高さをうかがうことができます。

また、松井家には、武器・武具を配した松井家歴代当主の肖像画が伝来しています。ここに描かれる武器・武具は、戦陣の褒美として主君から与えられたもので、拝領品である武器・武具が、御家の名誉を象徴する品として取り扱われていたことが分かります。

今回、担当の林さんに展示のみどころや初公開の展示品などを聞きました。

みどころ① 刀剣とそれを納める拵の美しさ



現在、一般財団法人松井文庫には37口の刀剣が伝存します。これらの作期は平安時代後期から室町時代までに制作された「古刀」が中心で、江戸時代に制作された「新刀」も僅かに含まれます。産地は、山城・大和・備前・相模・美濃といった日本刀の五大産地を網羅、加えて、松井家伝来の刀剣は、実用性の高いものが多くという特徴を持っています。

また、刀剣を納める拵は、ほとんどが江戸時代に制作されたものですが、当時の武家の式正に合った大小拵や、遊び心のある洒落た拵が伝えられています。その多くは、肥後で制作された「肥後拵」で、素材の魅力を生かした塗鞆に、肥後金工師が手がけた罫・目貫・縁頭など洗好みの金具を組み合わせたものです。茶聖千利休に学んだ細川三斎の抑制の効いた美と実用を兼ね備えた姿が、独特の光彩を放っています。

「太刀」とは、馬上戦に適した刀

・太刀 無銘 宗近 平安時代 (12世紀) 松井文庫所蔵

「太刀」とは、馬上戦に適した刀

で、刃が長く反りが深いのが特徴。本作は、刀身が細身で、手元から切先までしなやかに反っている。時々緩やかに波打つ刃文、そして、この優雅な姿こそ、平安時代後期の日本刀の魅力。作者は、京都三条で活躍した三条宗近。



・豆梅花皮鮫研出鞘打刀拵 江戸時代中期 (18世紀) 松井文庫所蔵

拵の鞆は鮫皮で包み、黒漆を塗って研ぎだした「梅花皮」。鮫皮の硬い突起が梅花の花のように見えることからそう呼ばれているが、本作はさらに粒立ちが大きくく豆のように見えることから「豆梅花皮」という。金具は、八代の金工師・西垣勘四郎の作。

みどころ② 天下人から拝領した武具



・銀箔押尖笠形兜 桃山時代 (16世紀) 松井文庫所蔵

松井家初代康之が出陣の褒美として豊臣秀吉から拝領した兜。全体に銀箔が押され、後方には

兎の耳を模した赤い立物がつけられている。

・緋黒羅紗段替陣羽織 桃山時代 (16世紀) 松井文庫所蔵

寛永13年(1636)の江戸城御手伝普請で、松井興長(松井家2代)は細川藩の総奉行をつとめた。この陣羽織はその際に、將軍徳川家光から拝領したもの。興長の手ぎわの良い働きぶりに感心した家光は、興長をそば近く召し寄せ、自ら着用していた陣羽織を与えた。緋色と黒の羅紗が交互に配された大胆な柄で、背面には金糸で葵の紋が刺繍されている。



みどころ③ 初公開! 八代に異国船がやって来たことを示す新出資料

・イギリス船日奈久来航の記録 江戸時代後期 慶応2年(1866) 松井文庫所蔵

松井家で作成された異国船来航に関する記録。幕末期の慶応2



年(1866)、イギリス船が日奈久沖に来航し、石炭の提供を要望。対応した田浦手永唐物抜荷改方横目の郡野一兵衛が、石炭がないことを伝えると、松丸太6000斤(3.6トン)と鶏4羽と玉子を所望した。

日奈久を含む芦北沿岸に異国船が来航したときは、松井家当主が自家の家臣、八代御城付、種山の郡筒を率いて出動する手筈になっていた。このとき松井家が出動することはなかったが、イギリス船来航の知らせは、即座に松井家に伝えられた。郡野一兵衛の報告によると、このイギリス船は、長崎から天草見物に参ったところ、石炭が切れたので日奈久に入港した。

林さんは、「武将にとって、武器・武具は、戦うための実用品であると同時に、自らの存在をアピールするファッションアイテムでもありました。武将たちは、武器・武具の使い勝手だけではなく、その美しさにも気を配りました。本展を通して、武器・武具の実用性を超えた意味について考えていただければ幸いです。」と話していました。



八代第一中学校 吹奏楽部

今回ご紹介す

るのは、八代第一中学校の吹奏楽部です。現在、

3年生7名、2年生7名、1年生7名が所属する吹奏楽部

は、60年以上の歴史のある部活動です。とても明るく仲が良い部活動で、「心は一つ」

をモットーに、顧問の上野伸介先生と吉村美和先生の指導

の元、生徒たちは3月23日に開催される定期演奏会に向けて、日々楽しく練習に励んでいます。

普段は、基礎合奏、パート練習、分奏などを行っておりま



す。音量調整と音をまとめる練習では、部員が少ないので一人一人がしっかり



と音を出すように心がけ、二人、三人と吹いても一本の音に聞こえるように努力しています。今年度は、熊本県

吹奏楽コンクール銀賞、熊本県マーチングコンテスト

金賞という輝かしい成績を収めています。

生徒たちには、どんな曲でも「自分がどのように表現(演奏)したいのか」を考えさせるようにしています。曲

のタイトルから曲の全体をイメージし、スコアを見て場面ごとに曲を分析しながら、自分

分なりの意図をもって表現(演奏)していき

るよう指導しています。上

野先生は、「吹奏楽とは『木

管楽器、金管楽器、

打楽器による合奏』のことです。ですので、人との関わり(コミュニケーションなど)を大切にできる人になってほしいです。自分の思いを伝えること、相手の意見を尊重しながら曲作りをすることで、人とのよりよい人間関係を築いていく力を学んでほしいです。また、生徒は毎日、自分で、そして仲間と共に同じ目標に向かって努力しています。その目標に向かって頑張っている姿や成長を感じた時に喜びを



八代第一中学校吹奏楽部 第42回 定期演奏会

日時 3月23日(土)

13:00開場 13:30開演

会場 桜十字ホールやつしろ

(入場無料 全席自由)

第一部 シンフォニックステージ

第二部 友情ステージ

(代陽吹奏楽クラブ)

第三部 ポップステージ

第四部 マーチングステージ

感じます。」と話してくれました。

また、部長の佐藤遥さん(2年)は、「一吹奏楽部は、一人一人が音楽に対しての向上心が強く、様々な意見を出し合い独自の音楽づくりを行っています。定期演奏会では、

お客様に楽しんでいただき、来年もまた来たいと思ってもらえるようなパフォーマンスをお届けします！」と意気込みを話してくれました。

今後の目標は、熊本県吹奏楽コンクール金賞、熊本県マーチングコンテスト金賞、九州マーチングコンテスト金賞です。

3月23日(土)には、八代第一中学校吹奏楽部第42回定期演奏会が開催されます。今年度も皆様に楽しんでいただけるよう色々な曲をご用意しております。魅力満載のステージで感動をお届けします。今年に入場制限ありません。たくさんのご来場をお待ちしております。



わたしの食

連載

た

たづくり、黒豆、なます

私は、お節料理が大好きです。嫁いでもうすぐ10年経ちますが、欠かさず作ります。今年も14種類作りしました。年の瀬に向けて、日頃の家事と並行し準備をするのですが、ごまめや黒豆が手に入ると、ふんどしの紐を引き締める思いになります。お節には、日本文化と祈りの予祝の思いが沢山詰められた、玉手箱のような素晴らしいしさがあ



私2年前から、お節を少し変えました。それは、娘も喜んで美味しく食べられるように調整しました。子育て世代の方は、がちがちに考えず子どもに寄せて考えるといいかも。例えば、なます。私は大好きなのですが、主人と娘は苦手です。少し食べるくらいで、最終的に、私が一人で何日もかけて食べていました。きつと食べられるようになるから、

今は少し変えてみようと思いましたが、材料は大根と人参ですが、塩糍もみにしました。レモンを絞りたい人は絞って、自由にできるよにしました。田作りも一緒に作るよになつて食べられるよになりました。

おばあちゃん、お母さんも作り続けてきたよに、私から娘へ受け継いで欲しいです。松や小菊の南天を飾り、大根や人参を富士山やうぐいす、松谷梅に型抜きしたり、今回も黒豆がきれいに炊けたねつて話したり。お節作りは伝える場でもあります。



世のお母さんたちは、忙しいでお節も作る時間もないと聞きます。そんな中、伝統は守られ「継なぐ」という意識を絶やさず、生きつづけてきています。先ずは一品でも歴史や意味を学び、作り続けて頂きたいです。その中でも「田作り」は意味深いのでおすすめ。どうして「田作り」という名前なのか、興味深いと思いませんか。願いの詰まったお節を大切にしたいこうと思

ラエトワール シエスタ
Instagram @siesta0110
店休日：火曜日
0965-38-3588

古紙回収サービスを行っています！



熊日新聞西部販売店では、毎月1回古紙回収を行っています。決まった日に玄関前まで回収に伺います。回収した古紙は委託業者に出し、再び新聞紙やその他の製品に生まれ変わります！熊日新聞は、SDGsに積極的に取り組んでいます。

おすすめポイント

- ・ 重たい新聞を資源の日にごみ捨て場まで持って行く手間が省けます！また、雨の日も回収します！
- ・ 回収袋を無料で配布します！（各家庭1枚）

熊日新聞西部販売
0120-249021



フォトピック

港町の宮崎さんのお宅にたくさんのお雛様が飾ってあると聞いて写真撮影に行ってきました!!

色とりどりのお雛様やつるし雛がたくさん!どれも手作りできても可愛かったぞ!

クルマのご近所ならショーエイにおまかせ!

軽自動車・乗用車から大型トラック・フォークリフトまで大切な車のご事は車検も修理もおまかせください！レッカー車・サービスカー完備で急なトラブルにも対応します😊

車検のショーエイ
松栄整備株式会社やつしる港センター工場
☎0965-62-9900
■八代市大島町 5053-2 ■営業時間 9:00 ~ 18:00 ■定休日：日・祝日



車検のご予約はホームページからもOK!!
早期ご予約割引制度もあります♪
アクセスはQRコードから、または『車検のショーエイ』で検索。

